

消費税 10%の中止、減税を求める請願

衆議院議長殿
参議院議長殿

請願の趣旨

消費税率が2014年4月から8%に増税されて、GDP（国内総生産）の6割を占める個人消費がいつそう落ち込み、景気回復の大きな障害となっています。実質賃金は5年連続減少し、勤労者の生活は大変と悲鳴があがっています。

国民の声と運動が消費税10%を2019年10月まで2年半先送りさせました。しかし8%のままでは、さらに暮らしも景気も悪くなってしまいます。10%増税中止はもちろん、家計をうるおし景気回復のために、「5%に引き下げてほしい」「廃止してほしい」の声が広がっています。

社会保障や財政再建の財源は、税金の集め方、使い方を変えることによって生み出すことができます。富裕層や大企業への優遇税制を見直し、支払う能力に応じた「応能負担」に改め、大型開発や米軍への思いやり予算、政党助成金などムダを削ることです。

もともと消費税は、収入の少ない人ほど税負担率が高く逆進性が強い税金です。「生計費非課税」の原則に反し、国民の暮らしを苦しめています。私たちは、消費税増税中止・減税とともに1日も早い廃止を求めています。

以上の趣旨から次のことを請願します。

請願の項目

- 一、消費税10%はキッパリ中止すること。
- 一、消費税を当面5%に引き下げること。

氏名	住所

消費税をなくす全国の会（取り扱い団体）